事業器号 2023 - 府 - 新24 - 0009

			∆ far <i>f</i> r i	キペート 市 米 ロ 1 2	**************************************	2020	/h) /h/2							
, all all a				変行政事業レビ ±		(内限							
事業名			単力的な資金供給機能の強信 事業終	7	担当部局庁	宇宙開発戦略推進事		作成責任者						
事業開始年度	f	令和6年原	(予定)4	終了予定	なし 担当課室	宇宙開発戦略推進	事務局	参事官 滝澤 豪						
<u>会計区分</u>	一般会計	+												
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	宇宙基本	法(平成	20年5月28日法律第43	号)	関係する 計画、通知等									
政策	22. 宇宙	政策												
施策	25. 宇宙	開発利用	月に関する施策の推進		主要経費	<u>主要経費</u> 科学技術振興費								
政策体系·評価書URL			o.go.jp/hvouka/r2hvouk											
	我が国の「 ス・トランス	ス・トランスフォーメーション)の実現を加速する。												
	際的な宇宙 間企業等の 等を踏まえ	人類の活動領域の拡大や宇宙空間からの地球の諸課題の解決が本格的に進展する中、従来の米露欧日といった宇宙先進国に加え、中国、インドをはじめとした新興国による国際的な宇宙開発競争も激化しており、宇宙活動に革新的な変化をもたらす技術進歩が急速に進展している。欧米の宇宙開発機関が、シーズ研究を担う大学等や商業化を図る民間企業等の技術開発への資金供給機能を有していることや、我が国宇宙産業が宇宙開発の中核機関たるJAXAの研究開発成果を基盤にビジネス展開しているケースも多いこと等を踏まえ、喫緊の課題である我が国の研究開発レベル・技術力の底上げに向けて、JAXAの先端・基盤技術開発能力のみならず、JAXAによる展間企業や大学等の支援機能を強化し、JAXA、民間企業及び大学等が失敗を恐れずにチャレンジすることで、我が国の宇宙産業を支える技術的優位性を継続的に作り続ける必要がある。												
	策定する「 進する。 これにより	民間企業・大学等が複数年度にわたって大胆に研究開発に取り組めるよう、産学官の結節点としてのJAXAの戦略的かつ弾力的な資金供給機能を強化する。具体的には、今後 策定する「宇宙技術戦略」を踏まえ、内閣府・文科省・経産省・総務省が連携し、民間企業、スタートアップ、大学・国研等に対する、先端技術開発、宇宙実証、商業化等の支援を推 進する。 これにより、「衛星等」、「輸送」、「探査等」の各分野において、宇宙関連市場の獲得を目指す民間企業等の商業化の加速、産学官の宇宙へのアクセスや利用の拡大、幅広いプ レーヤによる最先端技術開発への積極的な参画・戦略的な連携体制の整備・構築を目指す。												
事業概要URL	_													
<u>実施方法</u>	補助													
補助率等														
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求						
			当初予算(A)	-	_	-	-	1,000						
			補正予算(B)	-	-	-	_							
							-							
							_							
							-							
	予算の 状況						_							
予算額・ 執行額	51,50						-							
(単位:百万円) (インプット)		前年	F度から繰越し(C)	-	-	-	-	-						
(42296)		뀦:	年度へ繰越し(D)	-	-	-	-							
			予備費等(E)	-	-	-	-							
		=(A)	計(F) +(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	_	1,000						
		執	行額(G)	-	-	-								
			亍率(%) (G)/(F)	-	-	-								
	当初予算	の害	予算に対する執行額 剛合(%) '{(A)+(B)}	-	_	-								
		歳出	予算項•目	令和5年度当初予算	令和6年度要求		は増減理由(・要望額・	・予備費)						
令和5・6年度	(項)	, .	宇宙開発利用推進費		1000	重要政策推進枠∶1,000								
予算内訳 (単位:百万円)		(目)	宇宙開発支援事業費補助金		1,000	-								
		i	その他 計(A)	-	1,000	-								

		宇宙関連市場の拡大に向けた民間企業	等の商業化支援											
記 (7	「動内容① アクティビティ)													
	1													
任動日:	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込				
	では、 ① アウトプット)	宇宙関連市場の拡大に資する研究開	当該年度の支援件数	活動実績										
	712217	発課題を支援する	当成年度の文版 「	当初見込み										
↓	成果目標(①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研究開発の進捗や技術成熟度(TRL)のなお、アウトブット・アウトカム指標についや入れ替え等を個別に検討する予定では	いては、事業全体としての指標 に				対象領域の特	∳性・市場動向	等に照らして、	指標の追加				
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度年度				
成果目	標及び成果実績 ①-1			成果実績										
(短期アウトカム)		地上実証及び軌道上実証の実施	当該年度に地上又は軌道上 実証が行われた回数	目標値										
				達成度	%	-	-	-		-				
根拠 統計・ /定性的	綾及び目標値の Mとして用いた データ名(出典) 内なアウトカムに ける成果実績	 目標値は研究開発領域の性質等を踏まえて定める。												
1	成果目標(①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研究開発課題で支援を受ける宇宙関連企業等が事業の拡大等に向け資金調達を実施するため。												
成里日	埋みが成用実績	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度年度				
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		宇宙関連スタートアップ企業等の資金	本事業で支援を受けた宇宙	成果実績										
(17	#17 71·73 2 47	調達額の増加	関連企業等の資金調達額の 合計	目標値 達成度	%	_	_	_						
根拠 統計・ /定性的	積及び目標値の として用いた データ名(出典) 的なアウトカムに ける成果実績	目標値は前年度の成果実績以上とする	•											
1	成果目標(①-3の 散定理由 (長期アウトカム へのつながり)	宇宙関連企業等への投資額が増えるこ	とで、事業が拡大し国内の宇宙	'関連市場 <i>炸</i>	が拡大する	5 <i>た</i> め。								
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	と終年度 年度				
成果目	標及び成果実績 ①-3			成果実績						· / /				
(長	期アウトカム)	宇宙関連市場の拡大	宇宙関連市場の規模	目標値										
				達成度	%	-	-	-		-				
根拠 統計・ /定性的	綾及び目標値の として用いた データ名(出典) 内なアウトカムに トる成果実績	宇宙基本計画においては、「宇宙産業を 市場規模を、2030年代の早期に2倍の8				:宇宙ソリューシ	ションの市場を	合わせて、20	20年に4.0兆円]となっている				
			アクティビティ①につい	て定性的な	なアウトカ	ムを設定してい	いる理由							
7-1-1	1. 数字について													
7.762	ム設定について の説明		アクティビティ①につ	いてアウト	カムが複	数設定できなし	1理由							
		-												

	「動内容② 「クティビティ)	宇宙を活用した地球規模・社会課題の解決への貢献に向けた民間企業・大学・国研などの技術開発への支援													
	\downarrow														
活動目標	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見記	<u> </u>				
(アウトプット)		宇宙を活用した地球規模・社会課題解 決への貢献に資する研究開発課題を支	当該年度の支援件数	活動実績											
		援する 当初見込み コープログラス ロー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・													
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトブット からのつながり)	研究開発の進捗や技術成熟度(TRL)のなお、アウトブット・アウトカム指標につい や入れ替え等を個別に検討する予定でな	ては、事業全体としての指標に				対象領域の特	特性・市場動向	等に照らして、	指標の追加	ha				
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度年	度				
成果目標	標及び成果実績 ②-1			成果実績							100				
(短期アウトカム)	地上実証及び軌道上実証の実施	当該年度に地上又は軌道上 実証が行われた回数	目標値												
				達成度	%	-	_	-		_	_				
根拠 統計・ /定性的	権及び目標値の として用いた データ名(出典) ウなアウトカムに る成果実績	目標値は研究開発領域の性質等を踏まえて定める。													
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決に向けた自治体等や、地球規模課題解決に向けた国際的な議論の場での情報提供等の公的利用が進むため。													
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度年	度				
	標及び成果実績 ②-2			成果実績											
(ター2 (中期アウトカム)	明アワトカム)	-	_	目標値											
				達成度	%	-	-	-		_					
根拠 統計・ /定性的	i 及び目標値のとして用いたデータ名(出典)ウなアウトカムにつる成果実績	-													
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-													
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	k終年度 年	度				
	標及び成果実績 ②-3		当該年度における本事業の	成果実績											
(長)	明アウトカム)	地球規模・社会課題解決への貢献	成果を活用し公的機関・国際的枠組み等へ展開した数	目標値											
				達成度	%	_	-	-		-	_				
根拠 統計・元 /定性的	i して目標値のとして用いたデータ名(出典) かなアウトカムに る成果実績	目標値は前年度の成果実績以上とする	5												
			アクティビティ②につい	て定性的な	マウトカ.	ムを設定してい	る理由								
アウトカ	ム設定について の説明	-	アクティビティ②につ	ハングマウト	カルが海	ない ウマネナン	NIII dh								
			77712716123	-V-C7-77	ハムル 後3	る以及できない	一生田								
		_													

		宇宙における知の探究活動の深化・基盤	登技術力の強化に向けた民間が	と業や大学	·国研等0	研究開発への)支援							
だ (ア	・動内容③ ・クティビティ)													
	1													
活動日 :	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込				
	(3) マウトプット)	宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化に資する研究開発課	当該年度の支援件数	活動実績 当初見込み										
		題を支援する		当初先达6										
1	成果目標③-1の 設定理由 (アウトブット からのつながり)	研究開発の進捗や技術成熟度(TRL)のなお、アウトブット・アウトカム指標についや入れ替え等を個別に検討する予定でな	ては、事業全体としての指標に				対象領域の特	∳性•市場動向	等に照らして、	指標の追加				
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度 年度				
成果目	標及び成果実績 ③-1			成果実績						7.02				
(短期アウトカム)		地上実証及び軌道上実証の実施	当該年度に地上又は軌道上 実証が行われた回数	目標値										
				達成度	%	-	-	-		-				
根拠 統計・ /定性的	権及び目標値の として用いた データ名(出典) なアウトカムに 「る成果実績	目標値は研究開発領域の性質等を踏まえて定める。												
ļ	成果目標③-2の 散定理由 (短期アウトカム からのつながり)	地上・軌道上実証やその後の探査・実験等により、科学的・学術的な意義のある研究成果や革新的な技術が創出されるため。												
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度 年度				
	標及び成果実績 ③-2 ***********************************	ナ 古 类 4 こ 書: ロ よ 4 - 5 - 4 - 4 - 1 M - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	ナ市サのナダナダルマルナ	成果実績										
(中期アウトカム)		本事業から輩出された論文数が増加する	本事業の支援を受けて当該 年度に輩出された論文数	目標値										
				達成度	%	_	_	-		-				
根拠 統計・ /定性的	検及び目標値の として用いた データ名(出典) りなアウトカムに 「る成果実績	目標値は前年度の成果実績以上とする	•											
→	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-												
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	終年度 年度				
成果目	標及び成果実績 ③-3			成果実績										
(長)	朝アウトカム)	-	-	目標値										
				達成度	%	-	-	-		-				
根拠 統計・ /定性的	憶及び目標値の はとして用いた データ名(出典) りなアウトカムに 「る成果実績	-												
			アクティビティ③につし	て定性的な	なアウトカ	ムを設定してい	る理由							
アウトカ	ム設定について													
7 71.73	の説明		アクティビティ③につ	いてアウト	カムが複数	数設定できなし	理由							
		-												

事業に関連する	名称	-										
KPIが定められ ている閣議決定	URL	-										
#	該当箇所	-										
		事業所管部局による点検・改善										
		ナネバョル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日毎年度にセルス効用剤中に関ナス類体(みむったを中体)									
点検結果		事業実施に当たっては、透明性を確保して民間企業や大学等の選定を行うとともに、事業 経費の費目・使途の厳正な精査を行うことにより、効率的に事業を実施できるよう努める。	目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)									
改善の 方向性		事業の重要性や目的を踏まえ、適正な選定プロセスを行うとともに、事業経費の効率的な執行を図り、且つ効果的な事業成果が得られるよう多										
外部有識者の所見												
-												
		行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程	及び所見									
(選択してくだ	さい)	-										
		 	状況									
(選択してくだ	さい)											
		公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)に	おける取りまとめ									
過去に受けた推	油摘事項	上記への対応状況 その他の指摘事項 上記への対応状況										
_		调 专										
		関連する過去のレビューシートの事業番号										
 平成23年度	-	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,										
平成24年度	-											
平成25年度	_	+										
平成26年度	_											
平成27年度	-											
平成28年度	_	+										
平成29年度	_	+										
平成30年度	_	+										
令和元年度												
令和2年度												

令和3年度	1												
令和4年度													
資金の流れ (資金の受けいるのでいるかについているかについているかにのいるがについるがについてができる) (単位:百万円)				宇宙船	好	T究情 大変が	開発	_	本省1,000	執行分門			